

鬼怒川の外来種対策を考える懇談会

懇談会開催趣旨

本懇談会は、市民・市民団体、行政、及び研究者が連携し、鬼怒川の外来種対策をより効果的・効率的な取り組みとすべく、東京大学大学院の鷺谷教授を座長とし意見交換を行い、具体的に進めていくための枠組み(役割分担のあり方・望ましい広報等)について検討していくものです。

開催日

日時：平成22年3月8日(月) 15:00~17:00

場所：さくら市氏家公民館

出席者：学識経験者、市民団体、行政機関等20名

(学識経験者)

鷺谷いづみ 東京大学大学院農学生命科学研究科教授

須田 真一 東京大学大学院農学生命科学研究科研究員

高松健比古 日本野鳥の会監事

(市民団体)

うじいえ自然に親しむ会

さくら市ガールスカウト第20団

押上水神会

(行政機関等)

栃木県・下館河川事務所・(財)リバーフロント整備センター

懇談会の内容

- 1) 鬼怒川の礫河原再生に関する取り組みの概要
- 2) 鬼怒川における市民等による河川環境保全活動の実施状況
- 3) 意見交換：地域との連携による外来種対策の促進について
 - ・活動を続ける上での課題・問題点について
 - ・活動を続ける上での行政に対する要望について
 - ・その他(参与観察法により調査結果の報告、他河川の事例)

上記に議題に従い、各団体から活動報告が行われると共に、活発な意見が交わされました。

鬼怒川の外来種対策を考える懇談会



鬼怒川自然再生
～カワラノギクの咲く礫河原を目指して～



カワラノギク(在来種)



シルビアシジミ



ミヤコグサ
(シルビアシジミの食草)



シルビアシジミ



市民・NPOなどによるシナダレスズメガヤ等の外来植物の除去